

2025年度 国際基督教大学「リベラルアーツにおける数理・データサイエンス・AI教育プログラム」自己点検・評価報告

2025年度評価体制：

リベラルアーツにおける数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会

委員長: 石橋 圭介 教授

委員: 生駒 夏美 教授 (教養学部長)

松村 朝雄 准教授 (教養学部副部長(カリキュラム担当))

海蔵寺 大成 教授

森木 美恵 教授

金澤 雄一郎 特任教授

清水 勇二 特任教授

金子 拓也 上級准教授

鏑木 崇史 准教授

マルシャレツ, ダニエル ヤヌシュ 准教授

竇 暁玲 准教授 (2025年9月より)

評価対象：2025年度の「リベラルアーツにおける数理・データサイエンス・AI教育プログラム」

評価項目：文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に準ずる

プログラム詳細：ICU公式ウェブサイト「リベラルアーツにおける数理・データサイエンス・AI教育プログラム」ページ

<https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/datascience/>

2025年度の活動記録

2025年9月22日 リベラルアーツにおける数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会

2026年3月10日 リベラルアーツにおける数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	2025年度は履修者が、前年度より175名増えた（152名→327名）。これは前年度開講がキャンセルになった「GEN028 N2：社会における統計分析」が今年度は開講され、127名が履修したことにも因るが、「GES039 S2：統計情報リテラシー」が日本語開講英語開講の科目共に、大きく履修者が増え、学生の当プログラムや、数理・データサイエンス・AIへの関心が高まっていることも伺えるのではないかと考える。

<p>学修成果</p> <p>学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度</p>	<p>この授業で扱った数理、統計、データサイエンス、AIなどの「考え方が身についた」「実社会における応用や価値が理解できた」「留意点・問題点が理解できた」「実践（課題解決や活用）に触れることが出来た」という当プログラムの履修で学んだことについての設問への回答は、Strongly Agree と Agree が 9 割を超えており、高い学修効果が得られているものと思われる。</p> <p>一方、「今後、この授業で扱った数理、統計、データサイエンス、AIなどをさらに深く学びたい」「今後、この授業で扱った数理、統計、データサイエンス、AIなどを実践したい。」という継続学修への意欲に関する設問は、Strongly Agree と Agree の回答合計は 8 割台であった。データサイエンスが自らの課題に適用できる可能性についてさらなる意識付けを進めたい。</p> <p>アンケート結果の詳細は、下の「資料 2」にある。</p>
<p>全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況</p>	<p>引き続き、学生への広報を行っていく。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>「社会における統計分析」「データサイエンスの考え方」では、統計の基礎知識習得と並行して、学生が自ら分析テーマを立案、データを探索して分析・考察することにより、データ分析課題設定や結果考察の重要性を体感するように務めている。また、「理解のためのマルチメディア」では自然言語処理技術を応用したチャットボットを作成することにより、AI利活用による課題解決の可能性を体感してもらっている。</p>

<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> <p>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<p>全科目において、高校で数3レベルの数学を履修していない学生を対象としたリテラシーレベルの教育を実施し、わかりやすさを重視している。授業外において、数理に苦手意識を持つ学生が学部生ラーニングサポーターとともに学び合う場として、数量的スキルサポートを2023年度より立ち上げており、本プログラムの授業履修生も同サポートを活用している。</p> <p>並行して、各科目で発展的内容も扱っている（「データサイエンスの考え方」でのベイズ統計、「統計情報リテラシー」でのサンプリング法等）。また、本リテラシーレベル教育の修了後、発展的・実践的内容を習得可能なPythonプログラミング、深層学習の実践などの科目群も開講している。</p>
---	---

資料1. 履修者数 推移

		AY2023	AY2024	AY2025
GEN026	N 2：データサイエンスの考え方 N2: Ideas of Data Science	62	42	50
GES039 語開講	S 2：統計情報リテラシー 日本 S2: Statistical Information Literacy J	27	29	43
GES039 開講	S 2：統計情報リテラシー 英語 S2: Statistical Information Literacy E	22	10	46
GEN063	N 2：理解のためのマルチメディア N2: Multimedia Communication Literacy	72	71	61
GEN028	N 2：社会における統計分析 N2: Statistical Analysis in Society	85	Cancelled	127
Total		268	152	327

資料2. リベラルアーツにおける数理・データサイエンス・AI教育プログラム科目授業調査

対象科目：リベラルアーツにおける数理・データサイエンス・AI教育プログラムを構成する全科目 () は開講言語

春	GEN026 N 2：データサイエンスの考え方 (日)
	GES039 S 2：統計情報リテラシー (日)
秋	GEN063 N 2：理解のためのマルチメディア (日)
	GES039 S 2：統計情報リテラシー (英)
冬	GEN028 N 2：社会における統計分析 (日)

回答率: 30.3% (履修者327名 回答数99)

Q1. この授業で扱った数理、統計、データサイエンス、AIなどの考え方が身についた / I have learned the mathematical, statistical, data science, and AI concepts that are covered in the course.

	Strongly Disagree	Disagree	Agree	Strongly Agree	Valid Response
Number	2	7	51	39	99
%	2.0%	7.1%	51.5%	39.4%	

Q2. この授業で扱った数理、統計、データサイエンス、AIなどの実社会における応用や価値が理解できた / I have understood the practical applications and value of mathematical, statistical, data science and AI concepts covered in this course, as applied to real-world scenarios.

	Strongly Disagree	Disagree	Agree	Strongly Agree	Valid Response
Number	1	6	46	46	99
%	1.0%	6.1%	46.5%	46.5%	

Q3. この授業で扱った数理、統計、データサイエンス、AIなどの留意点・問題点が理解できた / I have understood the issues of mathematical, statistical, data science, and AI concepts covered in this course.

	Strongly Disagree	Disagree	Agree	Strongly Agree	Valid Response
Number	1	7	54	37	99
%	1.0%	7.1%	54.5%	37.4%	

Q4. この授業で扱った数理、統計、データサイエンス、AIなどの実践（課題解決や活用）に触れることが出来た

I was able to gain practical experience (in problem-solving and application) with mathematical, statistical, data science, and AI concepts covered in this course.

	Strongly Disagree	Disagree	Agree	Strongly Agree	Valid Response

Number	0	5	45	49	99
%	0.0%	5.1%	45.5%	49.5%	

Q5. 今後、この授業で扱った数理、統計、データサイエンス、AIなどをさらに深く学びたい
I would like to further deepen my knowledge of mathematical, statistical, data science, and AI concepts covered in this course in the future.

	Strongly Disagree	Disagree	Agree	Strongly Agree	Valid Response
Number	1	15	45	38	99
%	1.0%	15.2%	45.5%	38.4%	

Q6. 今後、この授業で扱った数理、統計、データサイエンス、AIなどを実践したい。
I would like to apply the mathematical, statistical, data science, and AI concepts covered in this course in practical situations in the future.

	Strongly Disagree	Disagree	Agree	Strongly Agree	Valid Response
Number	0	11	42	46	99
%	0.0%	11.1%	42.4%	46.5%	

以上